

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立出雲郷小学校）

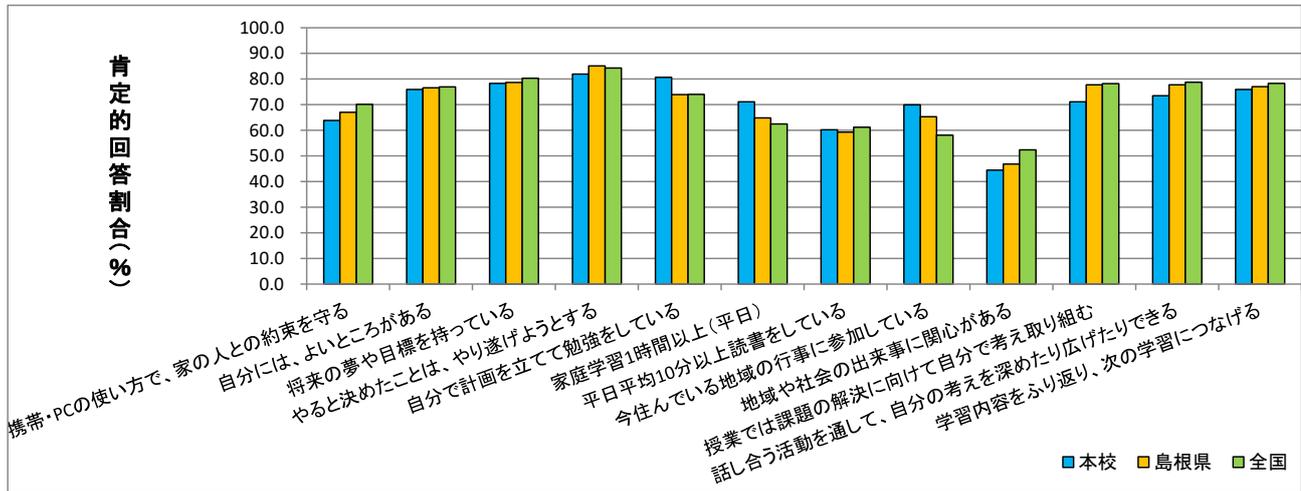
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果、●: 課題)	対策
国語	○漢字や言語の特徴や使い方については、正しく理解し、書いたり活用したりできる。 ○話すことの内容を整理して構成する力がついている。 ●目的に応じて必要な情報を得たり、文章全体の内容を正確にとらえ、それを短くまとめる要約力が十分についていない。	・日ごろから文章を粘り強く読み通す姿勢をつけるようにする。 ・説明文の授業を行う際に、読み取る視点や要約の手順をきめ細やかに指導し、文章の中心や大切な語句をとらえる力をつける。 ・新聞記事を読み取るワークシートを適切に活用し、スキルアップを図る。
算数	○グラフの読み取りや図形の公式など基礎的な力は、定着している。 ●求め方を筋道を立てて考え、説明する力が十分についていない。	・筋道を立てる手順や説明のために用いる方法をきめ細やかに指導し、論理的に説明する力をつける。

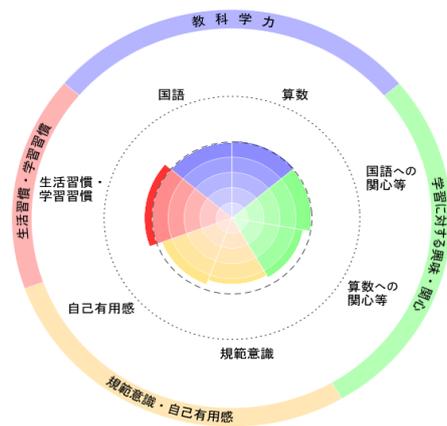
(2) 生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果、●: 課題)	対策
	○学習の手引きを基に指導をしたことと、自学の取り組み方を自学大賞等で評価することで、1時間以上家庭学習に取り組んでいる児童が約70%、自分で計画を立てて勉強に取り組んでいる児童が約80%に達している。 ●地域や社会の出来事への関心が希薄である。 ●授業で課題に主体的に取り組んだり、話し合うことで自分の考えを深めていくとする意欲が十分でない。	・記事を読む習慣や記事の内容を的確に読み取る力をつけるよう、新聞記事を基にしたワークシート等を活用していく。 ・授業を行う際に、子ども同士の学び合いの場が生まれるようにし、互いのよさを発揮しながら課題解決に当たる楽しさが体感できるようにする。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

○目標に向かって粘り強く学習に向かえる体づくり。  
○意見を交流しながらつながり合い学び合って思考を深めていく学習の場づくり。

【受検者数】 83名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。